

交換留学(派遣) 帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。
① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

本報告書は帰国後、1ヶ月以内に写真データと一緒にメールで提出してください。



あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学:	ウィーン経済大学
留学先での所属学部・研究科:	経営学部
留学先での在籍身分:	交換留学生
留学期間:	2024年9月～2025年6月
神戸大学での所属学部/研究科:	経営学部
学年(出発時):	3年
帰国日:	2025年7月1日
本報告書記入日:	2025/7/19

1. 留学先大学について		
1-1	受入許可書 (Acceptance Letter) を貰えた日	2月 13 日
	参加必須のオリエンテーション日	9月 9,10 日
	学期:	① 10月1日～1月31日
		② 3月1日～6月30日
		③ 月 日～ 月 日
		④ 月 日～ 月 日
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入してください	少人数の講義が多く、学生と登壇者で双方向のコミュニケーションが多い
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。	
	語学面でのサポート:	セメスター前の2週間のドイツ語＋セメスター期間中のドイツ語の講義がある(どちらも有料)
	勉学面でのサポート:	大学規模でのサポートはないが、教授ごとに予約をとれば丁寧にサポートしてくれる
	精神面でのサポート:	大学側が相談の機会を設けてくれている。開催の際にメールを通じて連絡が来る
	住居・生活面でのサポート:	手厚いサポートだった
1-4	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください	クリックで別シートへ

2. 住居について	
2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)

3. 生活について	
3-1	インターネット接続環境について
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。
3-2	医療について
	留学期間に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。
3-3	銀行口座等について
	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)

4. 経費について(奨学金、留学費用)			
4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	JASSO	
	支給額(円/月):	4万円	
	その他(渡航費等の支給):	なし	
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。(概算で結構ですので、円価で記入してください。)		
	航空運賃:	200,000 円	
	住居費:	(月額) 100,000 円 × (留学月数) 10 ヲ月 = 1,000,000 円	
	食費:	(月額) 40,000 円 × (留学月数) 10 ヲ月 = 400,000 円	
	保険料:	80,000 円	
	その他:	800,000 円	
	合計(留学期間全体の費用):	2,500,000 円	

5. 異文化体験について		
5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	生活面では、スーパーの営業時間が短いことが大きな違いだった。
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	2, 3か月に1度、会う程度
	課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	いいえ
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	安全です
6. 就職活動について		
6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	オンラインで可能な選考プロセス等を進めていった。
7. アドバイス、振り返り		
7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	インスタグラム
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:() 点 → 帰国後:() 点
7-4	振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	大きなトラブルはなかったのですが、苦労したことは、育ってきた環境が異なるとあらゆる文脈において当たり前の度合いが異なって、共通認識を探すところから始めないといけなかった。
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	十分適切でした。日本のほかの大学から同じ留学先に来ている方はほとんど自分たちで手続きしていると聞いたので、他大学と比較しても手厚いサポートを受けていたと感じます。
7-6	本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	薦めます。自分と同世代ぐらいの学生は高校時代、大学入学時にコロナの影響で留学できない状況だったと思うので、規制が緩和された今がチャンスだと思います。次いつ同じようなことが起こるかかわからないので、制度として可能なうちにとりあえず挑戦しよう派です。また、神戸大学での講義など、派遣期間以外の部分にも有益な要素はたくさんあると感じました。
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。	
	・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか	4
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	5
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	5
	・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか	3
	・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか	3
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	5
	・留学全体の総合的な評価	4

8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)

留学を考えている方の参考になればと思い、私が留学に行ってよかったと感じる理由を2つご紹介します。

自分で体験して情報を得ること

世界中に友達ができたこと

1. 自分で体験して情報を得ること

現代ではChatGPTを使えば、すぐに答えや膨大な情報を手に入れることができます。だからこそ、自分の足で訪れ、目で見たものは、他にはない自分だけの特別な体験として残り、人生を豊かにしてくれると感じています。

その体験から得られる学びは、おそらくインターネットにも載っているでしょうし、似たようなことを言っている人もたくさんいるはずです。実際、私が留学を通して感じたことは、何年も前にYouTubeなどで見たり聞いたりしたことと重なる部分がありました。

しかし、たとえそうした“ありふれた”考えや気づきであっても、自分で体感し、そこから自分で考えて導き出したという過程があることで、それは特別なものとなり、自分の血肉となると私は考えます。自分で感じ、考えることにこそ意味があるのです。

私が留学を通して感じたことの一つに、「自分が日本について全然知らない」というものがあります。これは「留学あるある」と検索すれば最初に出てくるような、ある意味で陳腐な感想かもしれませんが、私にとっては、留学を通して得た非常に新鮮で大切な気づきでした。ウィーンでの体験が、今後の私の人生の糧になると強く感じています。

抽象的な話になりましたが、留学に行ってみると、新鮮なことばかりで、新しい気づきを自分の体験を通じて得ることができました。

2. 世界中に友達ができたこと

ウィーンおよびWU(ウィーン経済大学)は非常にグローバルな環境で、ほとんどの留学生は留学生のコミュニティの中で生活する傾向にあるため、文字通り世界中から集まる学生と交流する機会に恵まれました。

日本の学生よりもネットワークを意識する学生が多く、友人関係だけでなく、今後のキャリアを考えていく上でも参考になる考え方に触れることができました。

そんな環境で様々な国から来た学生と友人になり、半年もすれば当然別れの時が来ます。その際、「私の国に来ることがあったら連絡してね」という言葉が飛び交っていました。これは本当に素敵な言葉だと思います。実際に会えるのはいつになるかわかりませんが、様々な国を訪れる理由ができました。俗な言い方かもしれませんが、色々な国に友達がいるというのは、シンプルに「カッコいいな」と感じます。

最後に

ここまで良いことばかりを書いてきましたが、その分、うまくいかないことや悩むこともありました。それでも、今振り返ると留学に行き本当によかったと思います。今後、留学やウィーンで生活する機会があれば、もう一度挑戦したいと思えるほど貴重な経験でした。

9-1	あなたの報告書の一部を引用して、本学の印刷物やウェブサイトに掲載することに同意しますか？	はい
9-2	あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか？	はい
9-3	学部のウェブサイトに報告書を記載します。留学を検討している経営学部生があなたに連絡を取る事に同意しますか？	はい

ご協力ありがとうございました。本報告書は大変有益な資料になります。

1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 ／週	留学先 での単 位数	授業で の使用 言語	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等の成績評価 についてアドバイスも含めて教え てください
1	Resaerch Method in Marketing	Till Bieg, MSc,MSc, Assoz.Prof PD Dr. Monika Koller	1	6	英語	20人程 度	予習はなく、授業内でのプレ ゼント期末課題(ケーススタ ディ)によって評価
2	Strategic Business Analysis and Investment Decision	Alisa Sophie Bach, M.Sc.	1	6	英語	20人程 度	中プレゼント最終プレゼン、分 析課題、期末考査によって評 価
3	Designing your Carrer in International Business	Dipl.-Komm.- Wirt/in Bettina Wertheim	1	6	英語	20人程 度	予習復習もなく、定期的に出 される課題を提出するのみ
4	Global Media Marketing	Mag. Alexander Koppel	1	6	英語	20人程 度	集中講義で予習復習する時 間は特になかった。毎授業で プレゼンがあり、それと最終 ケーススタディによって評価
5	Sustaibnable Tourism	Dr. Michał Lemański	1	6	英語	20人程 度	中プレゼンを2回と最終レポー ト2000字強
6	Responsible International Business	Univ.Prof. Dr. Desislava Dikova	1	6	英語	20人程 度	授業ごとに期間が結構空くの で復習が必要。事前課題もあ り。
7	Internatinoal Marketing in Asia	Thomas Freudenreich, MSc.	1	6	英語	20人程 度	小テストが複数回あったので 予習復習は大切。
8							
9							
10							

・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

クラスは20人程度の授業が多く、評価方法もプレゼンやケーススタディのものが多かった。期末考査があったのは結局1つだけであった。評価方法などは事前にシラバスで明示されているので参考にするとよい。現地学生はGPAを気にしているようだったが、英語の授業は留学生が多かった。Specializationなどの特定のプログラムに組み込まれている授業は現地生が多かった。(私の場合はStrategic Business Analysis and Investment Decisions)また、WUは履修方法が先着順であるため、慣れていない交換留学生は少し不利に感じる。冬セメと夏セメと合計2回経験したが、結果的に志望度の高い授業はあまりとれなかった。